

Like no other

RIPPLEFISHER / HANDCRAFTED IN JAPAN / SINCE 1997



**JUST ARMED WITH RIPPLEFISHER
2024**

Hand Craft
Ripple Fisher
FOR PROFESSIONAL ANGLERS

WORLD

The ocean is vast and full of unknowns.



JOURNEY

Anglers head to the sea in search of encounters.

Contents

BOAT

P10 BIG TUNA / TUNA

P17 Aquila / BOAT CASTING

P22 Ultimo / GT & KINGFISH

P26 GTX pedition / GT & KINGFISH

P27 OceanRidge / GT

P28 SELFISH / JIGGING

P30 OceanArrow / JIGGING for MONSTER

SHORE

P34 MonsterImpact / POWER METHOD for MONSTER

P39 Avarice / BLACKFIN SEABASS

P40 RunnerExceed / ROCKY SHORE CASTING

P45 SilverStream / SHORE & BOAT CASTING

P48 RealCrescent / LIGHT GAME

OTHERS

P50 GEAR & GOODS

P54 ROD COLOR CUSTOM

P58 All Lineup Details

P59 Repair Service & About Us

RIPPLEFISHER NOW AND IN THE FUTURE

現在、世界は大きく変わりました。自然環境も、社会の情勢も、数年前には予想もできなかったような大きな動きを見せています。末端のロッドメーカーであるリップルフィッシャーを取り巻く状況も、それらの変化とは無関係ではられません。それでも、私達に出来ることは、ただひたすらに釣り竿を作り続けることしかありません。

釣り竿という道具は、私達の手元にあるうちは過去から現在の存在ですが、アングラーの皆さんの手に渡ること、未来へと向かう存在に変わります。本来、道具作りとは使われて初めて意味を為すものであり、自分たちが作るものが未来を作ってくれるという喜びこそが私達の原動力です。たとえ世の中が大きく変わろうと、良いことも悪いこともまとめて糧とし、その先へ向かうために、愚直に釣り竿を作り続ける。それしかできないのも事実ですが、だからこそ未来へと繋がる糸であるアングラーの皆さんの存在は、リップルフィッシャーにとって、なにより大切なものなのです。

私達の考えるロッド作りには、大きく分けて2つの方法があります。ひとつは、必要とされるものを作ること。もう一つは、世の中に存在しないものを創ること。これは、作り手の考え方としては非常に大切なことだとリップルフィッシャーは考えます。もちろん、どちらが良いということは無く、自分たちが生み出すものはどのようなのか？新しい何かへ繋がるものになっているか？新しい製品を企画し、発売までの過程でこの疑問は繰り返し問いつけられます。そして、テスターと開発スタッフは、時にぶつかり合いながら製品を練り上げていきます。私達より釣りの経験も実力もあるテスターの存在は、ものづくりの仲間として、これ以上なく頼りになり、心強いものです。しかし、それを形にする側はテスターの意向のみを考えて作るわけではなく、そのテスターさえも驚かせるようなものを生み出さなければなりません。自分たちに足りない部分をテスターに埋めてもらい、作り手としてテスターの想像を超えるものを形にするために、常に新しい設計や技術を生み出す努力を続けることが重要だと私達は考えます。そうすることで初めて、ユーザーの皆さんがリップルフィッシャーの製品を手にした時の驚きと喜び、信頼を得ることができると信じています。

リップルフィッシャーの開発・製造に携わるスタッフとテスター、そしてリップルフィッシャーのロッドを愛用くださる、あなた。すべてが揃ってこそ、リップルフィッシャーのロッドは未来へと向かう道具となるのです。

未来へ向かうために、道具を作り続ける。
いままでも、これからも。

Hand Craft
Ripple Fisher
FOR PROFESSIONAL ANGLERS
HANDCRAFTED IN JAPAN / SINCE 1997
Like no other



BOAT

OFF SHORE FISHING

TUNA

BIG TUNA
JAPAN Special

KINGFISH and MORE

Aquila

GIANT TREVALLY

Ultimo

GTXpedition

OceanRidge

JIGGING

SELFISH

OceanArrow

Simple Fisher



OceanRidge

BIG TUNA

ビッグツナ / ツナゲームシリーズ

JAPAN Special

BIG TUNA / Tuna Boat Casting
Bluefin Tuna / Yellowfin Tuna

NEW COMPOSITION 2024

85F JAPAN Special / Light Class

87AS JAPAN Special / Middle Class

83 JAPAN Special / Middle Class

NEW 710RT JAPAN Special / Heavy Class

NEW 86 JAPAN Special / Heavy Class

76 JAPAN Special / Power Class

73 JAPAN Special / Power Class

NEW 70 JAPAN Special / Power Class

BIG TUNA

NEW ARRIVAL

2024
BIG TUNA
NEW MODEL×3

70
POWER CLASS

710RT
HEAVY CLASS

86
HEAVY CLASS

アングラーや遊漁船のノウハウはもちろん、メーカーのデータ蓄積も相まって急速に進化を続けてきた「マグロ釣り」。おそらく、国内外においてマグロ類は私達が狙える魚の中で最大、最強のターゲットといえるでしょう。それに立ち向かい、夢を叶えようとするアングラーに対し、私達リップルフィッシャーは何ができるのか？アングラーが求めるその先とは何か？と日々問いながら「BIG TUNA」というモデルに向き合い、トライ&エラーを繰り返してきました。それは常に新たな挑戦であり、ロッドメーカーとして大きな進歩をもたらしてくれました。その中で、「BIG TUNA」が担うべき役割と目指すべき未来は、変わりゆく状況でも常にアングラーに影響を与え続けることのできるシリーズであることです。2024年に追加される3機種は、その思いを形にしたリップルフィッシャーからの提案です。

BIG TUNA 70 JAPAN Special / POWER CLASS
BIG TUNA 710RT JAPAN Special / HEAVY CLASS
BIG TUNA 86 JAPAN Special / HEAVY CLASS

近年、超大型マグロが日本海側を中心に広く狙える状況に変わり、ストレートボンピングやPE14号以上の超太ラインを使用するスタイルが検討されています。BIG TUNA 70はその状況の中で、タックルを強化すれば際限なく大物が狙えるようになるのか、という問いへのリップルフィッシャーのアンサーです。710RTと86は、旧モデル710と85を再設計した「リチューン(Retuned)モデル」です。「BIG TUNA」の礎を築いた710や85が世に出て十数年が経ち、これからも変わりゆくマグロを取り巻く状況を見据え、現在、そしてこれからの状況に対応させるべく最適化させました。ただ「曲げやすくなった」や「遠投できるようになった」といったシンプルな性能のみに囚われることなく、特性の異なるカーボンシートを重ね合わせるにより、極限の状態でこそ耐えしのぎ浮かせるための復元力、潜在する強靱なバットパワーをより発揮させやすいテーパーデザインへと大きく変貌を遂げました。2024年、新たなラインナップと共に進化したBIG TUNAシリーズにご期待ください。



BIG TUNA POWER CATEGORY

Power Category	Model	Line Class	Lure	DRAG MAX
Light Class	85F	PE3~6	18~120g	10kg/45°
Middle Class	87AS	PE5~8	40~150g	15kg/45°
	83	PE6~8	40~150g	15kg/45°
Heavy Class	NEW 86	PE8~12	40~160g	15kg/45°
	NEW 710 RT	PE8~12	40~160g	15kg/45°
Power Class	73	PE8~12	60~180g	18kg/45°
	76	PE8~12	60~180g	18kg/45°
	NEW 70	PE10~12	80~220g	18kg/45°



BIG TUNAシリーズでは、ロッド特性をより分かりやすくするために、パワーカテゴリーを設定しています。一例を上げると、同じラインマックス値を持つ86・710RT・73・76・70といったモデルでも、73・76・70は超大型級を狙う為に、より破断強度を上げて開発されており、86・710RTとは異なるパワーカテゴリーになります。86・710RTは誘い出しなど遠投が必要とされる状況や、より細かい誘いが求められる状況で活躍するモデルです。85F・87AS・83に関してはキハダマグロ狙いでも活躍するモデルであり、マグロサイズが50kg以下なら85F、80kg以下なら87ASと83といった感じが大体の目安です。使用するルアーサイズ、ライン、マグロのサイズ、必要とされるルアーアピールなどを総合的に考え、モデルをお選びください。



BIG TUNAシリーズのロッドデザインにおいて、左のパワークラスに合わせたスレッドカラーで色分けしております。またグリップのリールシート上のスぺーサーには機種名が刻印されています



Bluefin tuna 290kg

Tackle data
Rod: BIGTUNA 76 JAPAN SP
Reel: STELLA SW20000PG+MAX Spool
Line: Avani Casting PE SiX PE12
Leader: 220lb
Lure: Darts 250
Angler: Mr.Miyauchi
Boat: Ryukimaru
Fight time: 1hour 30minutes



BIG TUNA 2024 LINEUP

4 POWER CLASS / NEW MODEL X3

BIG TUNA 85F JAPAN Special Light Class

小さいアールを速くに飛ばせ、立てても折れにくい粘り強さを持ったモデル。使用ラインはPE3.6-6号、使用ルアーは18-120gと幅を持たせ、小型ベイトパターンやランタイプレッシュ化するフィールドでも多彩なアプローチを可能とし、バイトへのきっかけをつかみます。カテゴリ内ではライトロッドとしての位置づけながら50kg前後のキハダマグロやクロマグロをいなし、船に寄せるパワーを十分に備えた非常に懐の深い一本です。

BIG TUNA 87AS JAPAN Special Middle Class

AS(Accuracy-Shot=正確なショット)の名の通り、安定した飛距離と正確なキャスト性能で幅広いサイズのルアーをキャスト可能なモデルです。キャスト時のブレを排除したブランクに加え、ガイド構成もRVガイドを搭載したコンボ仕様を採用し、極限までスムーズなライン放出を磨きあげました。ナブラが少なく速い回収や、誘い出しで広範囲を探る展開、アゲインスト等の悪条件下などのタフな状況で狙い通りの攻略をサポートします。ロッドパワーは50〜60kgまでのマグロ類を想定したミッドクラスモデルであり、ファイト時はロッドを立てて耐えながら、ゆっくりと浮かすスタイルに適したテーパーデザインとなっています。

※78ASは83よりも1〜2インチ程度ライトに感じられる設定です。同等サイズの魚でスピーディーなファイトを好まれる方は83をお勧めします。

BIG TUNA 83 JAPAN Special Middle Class

キャスト性能はもちろんのこと、「ルアー操作＆フット」を重視して開発されたモデル。プラザ撃ちだけでなく、誘い出しが必要な状況下で小口径ドラッグボッドやダイビングガンシールの操作を可能としたPE6-8号対応の猛ダークスロッドです。キャスト数が増える誘い出し時、体力の負荷を軽減するためにバンクを軽量化し、設計し、手にしたときの軽さとバランスの良さはBIG TUNAシリーズの進化を実感していただけます。また、手元側に曲がりの支点を置くことで、フット時はこれまでにない軽力でベイトパワーを引出すことのできる一本に仕上がりました。

2024 NEW BIG TUNA 86 JAPAN Special Heavy Class

ベークラスタックルでのロングキャスト&アキュラシーを求めるのであれば86がベストモデルです。ペイトが小さく、狙う個体サイズが選べない状況下においては、ティップの柔軟さを利用し、従来のヘビータックルよりムルア選択の幅を広げる事ができ、また少ない力でルアーを投げやすいモデルになっています。フイットでは曲りの支点は手元側にありますから、ブランクの張りを損なうことなくマグロに主導権を渡しません。

2024 NEW BIG TUNA 710RT JAPAN Special Heavy Class

初代モデルの発売当初と比べて、大きく変化した現在のツナシナーに合わせて再設計を行ったモデルとなります。バットを曲げて獲ることを意識したデューパー設計に調整しているため、フットにおいてアングラーがバットバットを効率よく使ったフットが可能です。単にバッドが柔らかくなったのではなく、誘い出しにおいてもフットにおいても楽に操作できるバランスの良いヘビークラスモデルに仕上がりました。ヘビークラスで誘い出しを一日するのであればこのモデルがベストです。

BIG TUNA 76 JAPAN Special Power Class

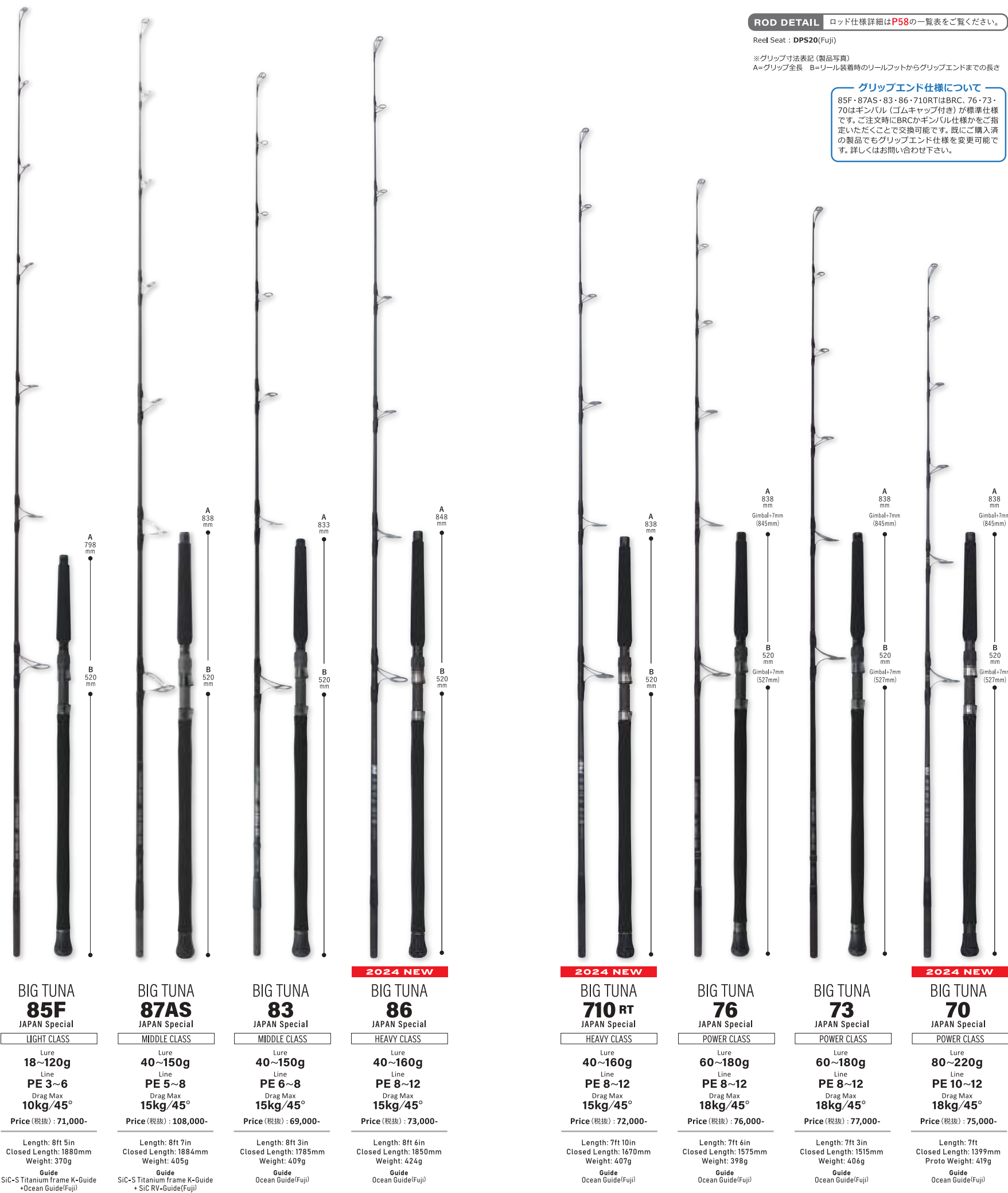
超大型のクロマグロを視野に入れたモデル。73号様にシラバターンで多用する大型アークを使うことを前提していますが、比較的低空気抵抗の少ない60g程度のシンキングシンシルでもキャスト・操作可能です。73との違いは、ファイトスタイルの違いになります。魚にプレッシャーを掛けられる強いバットパワーを保持しつつ、ロッドの曲がりが支点をアングラー側へ寄ったことで、マグロの走りでロッドが伸される手を抑えながら、上半身〜腰部の負担を減らして長時間のファイトが可能なベンドカーブになっています。

BIG TUNA 73 JAPAN Special Power Class

超大型のクロマグロを視野に入れたモデル。シラバターン時に使用する大型ルーアを、ボールに的確に撃ち込む事が出来るキャスト性能が特徴です。ショートレンジを生かし、パワーファイトスタイル又は、スピーディーなファイトで獲りたいアングラーに適しています。シリーズ中で最も張りがあるモデルですので、体力・筋力に自信のある方にお薦めします。

2024 NEW BIG TUNA 70 JAPAN Special Power Class

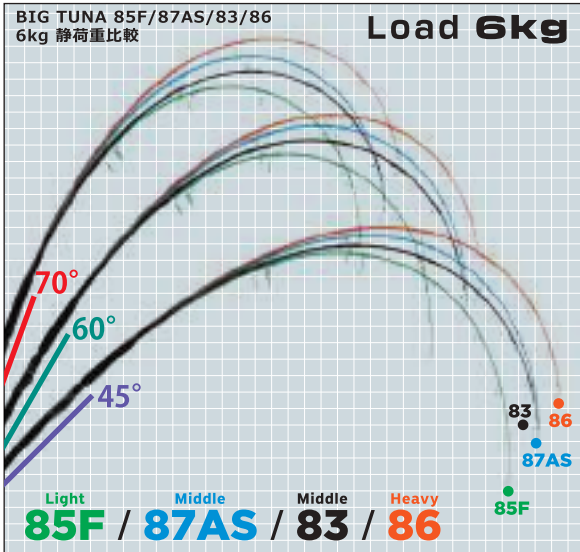
超大型クローマグを視野に入れたモデル。70t「ロッドを立てての高負荷ファイト」と「ストレートポンピングでのファイト」の両方を駆使して獲るアングラーに向けたモデルです。ロッドパワーはBT76、BT73と同等ですが、破断強度はこれらに優る設計になっています。ブランクレスを短く、更に曲がりの支点をアングラー側に寄せたことにより、アングラーへの負担を大幅に軽減しつつ船舷や障害物をかわす為の必要な長さを持することで、2種類のファイトをよりスムーズかつ快適におこなえる一本へと仕上がりました。



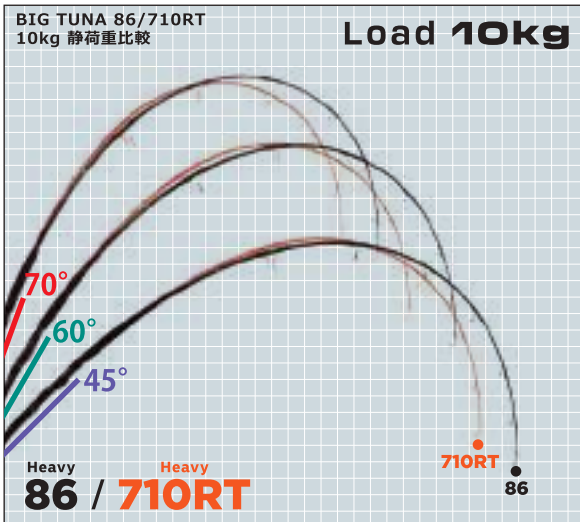
BIG TUNA Bending Curve

ビッグツナシリーズのワーククラス別に静荷重を掛け、ロッドの角度を変えた曲がり比較です。曲がり支点の変化、バットの残りの残り具合等の参考にしてください。

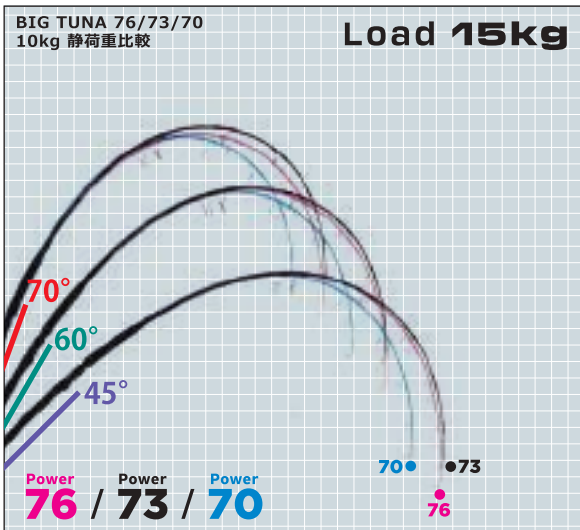
※レングスの違いによって生じる曲がり角度の変化は、必ずしもロッドパワーを反映するとは限りませんのでご注意ください。



「いなし重視」タイプの85F・87ASは曲がりしろが深くティップが入るテーパードesignになっているため、小型ルアーのキャストやアンダーに負担が少ない「いなしファイト」を得意とします。対して「浮かせ重視」の83と86は曲がりしろが浅く、曲がりの支点がややティップ側にあるため、スピーディーなファイトが可能です。同クラス(ミドルクラス)の87ASと83では、1パワー程度83の方が強く感じられる使用感です。



ヘビークラス2機種との比較です。2機種とも比較的似たテーパーデザインになっていますが、レングスにより特性が異なります。86はしっかり曲げこむことで、レングスを活かした遠投性能に非常に優れます。710RTはレングスが短い分、キャスト・ファイトにおいても曲げこみやすいバランス重視のモデルになっています。



バウクラス3機種の比較です。73と76は45度の角度で見ると、ほぼ同レベルに見えるが、ロードを比べて比較することで76は水平面から曲がり、アングラへの負担が少なく、対して73は浅い曲がりなため、スピード感のあるファイトが可能です。新しく追加された73は最もバットパワーが強く、ショートレンジなために支点はアングラにより近く、負担が際限まで軽減されています。同じバウクラスの3機種ですが、それぞれ特性が合ったく違います。※**グロッドをお選びいただく際には、ご自身の体格・体力・経歴に合ったロードをお選びください。**

About RippleFisher Boat Casting Models

リップルフィッシャー・ボートキャストイングロッド解説 **BIG TUNA** *Aquila* *Ultimo* *OceanRidge* *GTX**pedition*

リップルフィッシャーにはビッグツナ・アクィラ・ウルティモ・GTエクスペディション・オーシャンリッジといったシリーズがあります。シリーズごとにマグロ用・ヒラマサ用・GT用とカテゴリーに分けてはいますが、ゲームが進化し、多様化するに伴い、ボーダレスになっている部分もあります。下記のシリーズ及びモデル解説をロッド選びの参考にしてみてください。

ボートキャストイングモデル 各シリーズの特性について

BIG TUNA

マグロ用ロッド

マグロはGTに比べ根に走ることが少ないこと、大型マグロとのファイトになるとアングラーへの負荷が大きくなることから、タメの効く粘り調子のシリーズ特性になっています。

OceanRidge *GTX**pedition*

GT用ロッド

ポッピングメインのGTロッドで、ポッパーに大きなスブラッシュをさせるためにティップは強くなっています。またGTは根に走る魚であり、短時間で根から引き離すために体重を掛けたファイトが出来るようにハリの強いシリーズ特性です。

Ultimo

GT&ヒラマサ用ロッド

ダイビングポッパー、ペンシルベイト等、高い汎用性能で幅広いルアーを使用できるモデルで、ルアーを水絡み良く操作できる柔軟なティップを持つGT&ヒラマサロッドシリーズ。ビッグツナとオーシャンリッジの中間にあるモデルですが、ファイトはGT寄りの体重を掛けたスピーディな展開を重視したシリーズ特性です。

Aquila

ヒラマサ・キハダ、その他

アクィラはラインナップ内で更にカテゴリーで細分化し、様々な状況やスタイルに対応できるようにモデルを揃えています。アクィラのラインナップのカテゴリー特性は下の図を参照してください。

●MLT・MSTは条件特化型モデル

MLT・シラスなどベイトが小さく、魚が偏食して釣りづらい状況等で小型ルアーを駆使する展開に使用するモデル。

MST・シイラなど大きなベイトを魚が追っている状況で大型ルアーで誘う展開に使用するモデル。

●STはベーシックモデル

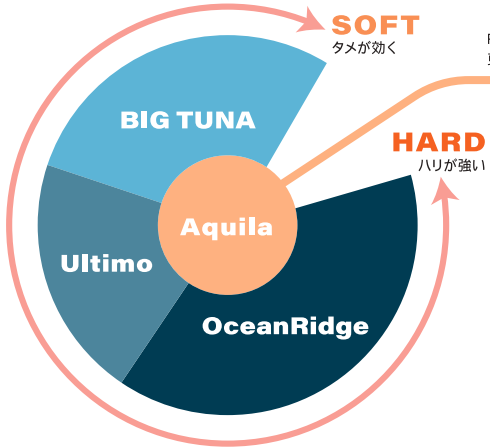
STはブリ・ヒラマサ狙いの場合で最も汎用性能が高く、スタンダードなボートキャストイングモデル。追加モデルのST81-2はブリ・カツオ・サワラなどをターゲットにしたライトクラスモデル。

●3ピースEXはシャープな使用感のモデル

EXはSTに近いマルチな使用感を想定しており、3ピースモデルの携帯性を生かし、汎用性能を求めたコンセプトです。ラインナップ内では最もハリの強いカテゴリーです。

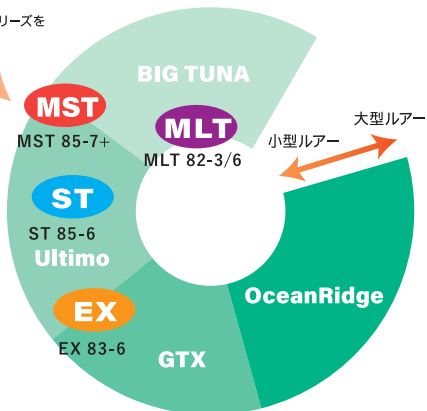
Boat Casting Series

ボートキャストイングシリーズ特性



Aquila PE6~

参考例・アクィラ PE6号程度のモデル特性



Boat Casting Models, Characteristic distribution table

リップルフィッシャー・ボートキャストイングシリーズ特性分布表

